

第16回 拡大内視鏡研究会

もはや日常—拡大観察～near focusから超拡大まで～

器質的消化器疾患診断のgold standardは生検や切除標本を用いた病理診断ですが、超拡大内視鏡観察によって直接生きた細胞や核の画像に基づくoptical biopsyが可能になってきました。

共焦点レーザー顕微内視鏡、光学式接触型超拡大内視鏡が市販され、超拡大内視鏡がいよいよ実地臨床の場でも利用されはじめています。組織を採取しないin vivoの超拡大内視鏡診断が、採取組織のex vivo病理診断にどこまで迫れるか、どこが異なるかも明らかにする必要があります。

消化管にとどまらず胆膵領域にも応用され、超拡大観察を用いたAI診断、炎症性腸疾患の治療効果判定や再燃予測、さらには分子イメージング、癌以外の機能性疾患への応用など、様々な試みがなされています。

一方、NBIやBLIなど薬剤や色素を用いない画像強調拡大観察は、発売以来10年を過ぎ、その簡便さゆえに今やルーチン検査と言ってもよい存在となっています。海外での拡大内視鏡の普及はまだですが、near focusは比較的ポピュラーです。

今回はもはや日常となりつつある拡大内視鏡の現状と今後の展望に関して皆さんで再学習し、活発な討議を行いたいと思っております。多数の演題の御応募をお待ちしております。

日時

2019年
9月14日(土)

会場

ベルサール汐留

東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル2F

参加費

5,000円

一般演題募集／参加申込

2019年5月8日(水)正午▶7月12日(金)正午

【研究会URL】<http://www.pw-co.jp/kakudai16/>

当番世話人：

檜田 博史 (近畿大学医学部消化器内科)

代表世話人：

吉田 茂昭 (青森県病院事業管理者)

工藤 進英 (昭和大学横浜市北部病院)

【事務局】

近畿大学医学部 消化器内科 米田 頼晃
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2
TEL:072-366-0221

【運営事務局】

株式会社プランニングウィル
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6F
TEL: 03-6801-8084 FAX: 03-6801-8094 E-mail: kakudai16@pw-co.jp

KINDAI
UNIVERSITY